

文化芸術・スポーツ活動に関する 区民意識調査の結果について

1. 調査目的

この意識調査は、品川区文化芸術・スポーツ振興ビジョンの策定を前に、文化芸術・スポーツに対する区民の意識を総合的に調査するために行ったものです。また調査は、品川区と品川文化振興事業団および品川区スポーツ協会の三者共同で行ったもので、あわせて広報広聴課でも、区政モニターに対して、同一の調査を行いました。調査の結果については、両方のアンケートを合わせた上で分析をしております。

2. 調査項目

- (1)文化芸術に対する区民の関心と活動の内容
- (2)文化芸術に関する今後の方向性
- (3)品川らしいと感ずること
- (4)スポーツに対する区民の関心と活動の内容
- (5)スポーツに関する今後の方向性

3. 調査の方法

(1)無作為抽出による調査

調査地域：品川区全域

調査の対象者：満20歳以上の区民2,000人

標本の抽出：住民基本台帳から無作為抽出による

調査期間：平成21年3月10日～25日

調査方法：郵送法

(2)区政モニターによる調査

区政モニターに対しても同様に300人に対し、郵送による送付・回収により調査をおこなった。調査期間は3月13日～27日。調査方法は郵送による

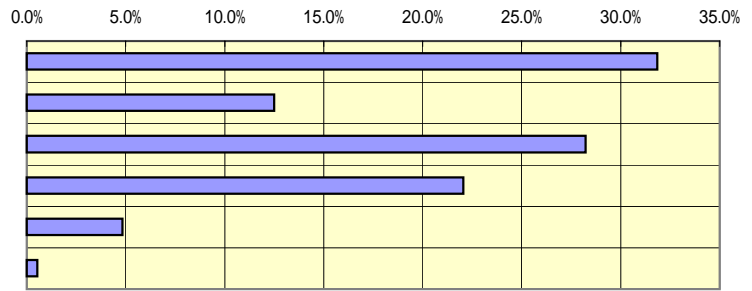
4. 回収状況

	標本数	有効回収数	有効回収率
無作為抽出による調査	2,000	507	25.35%
区政モニターによる調査	300	237	79.00%

0. 共通質問項目

お住まいは下記のどの地域ですか

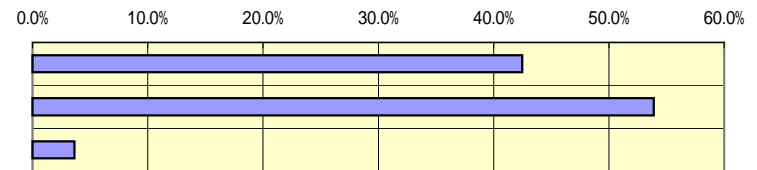
回答肢	回答数	比率	区人口分布
品川地区	237	31.9%	18.1%
大崎地区	93	12.5%	15.1%
荏原地区	210	28.2%	38.4%
大井地区	164	22.0%	24.8%
八潮地区	36	4.8%	3.7%
回答なし	4	0.5%	
合計	744	100.0%	100.0%



品川地区が区の人口分布比率18.1%に対して、回答者の比率は31.9%となっており、他の地域と比べて多くなっている。逆に、荏原地区が区の人口分布の比率が38.4%に対して、回答者の比率28.2%となっており、低くなっている。大崎地区が15.1%に対して12.5%。大井地区が24.8%に対して22.0%、そして八潮地区が3.7%に対して4.8%とあまり大きな開きはなかった。

性別をお尋ねします

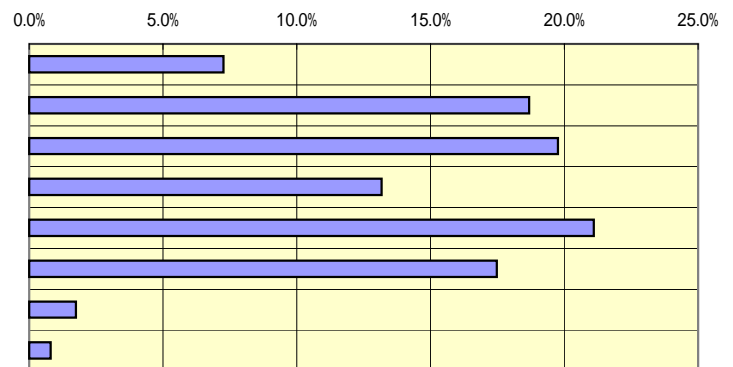
回答肢	回答数	比率	区人口分布
男性	316	42.5%	49.2%
女性	401	53.9%	50.8%
回答なし	27	3.6%	
合計	744	100.0%	100.0%



男性が区の人口分布49.2%に対して回答者の比率は42.5%で、女性の方では、50.8%に対して53.9%であり、さほどの開きはなかったが、男性が若干低く、女性が若干高いという結果となった。

年齢についてお尋ねします

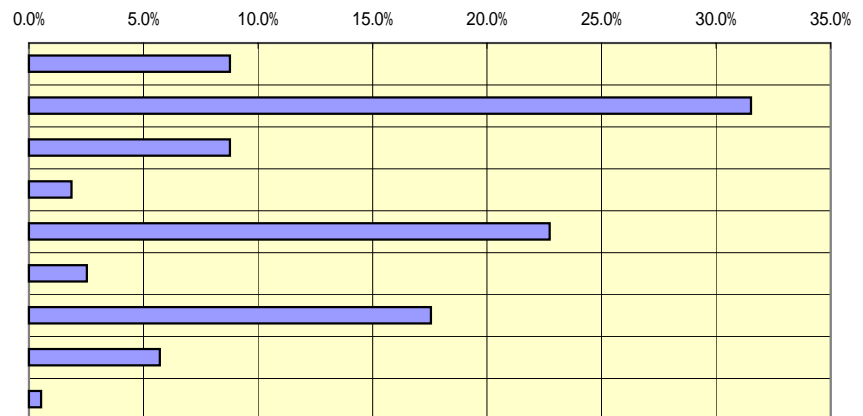
回答肢	回答数	比率	区人口分布
20歳代	54	7.3%	16.7%
30歳代	139	18.7%	22.6%
40歳代	147	19.8%	16.8%
50歳代	98	13.2%	14.0%
60歳代	157	21.1%	14.7%
70歳代	130	17.5%	10.2%
80歳代	13	1.7%	5.1%
回答なし	6	0.8%	
合計	744	100.0%	100.0%



20歳代が区の人口分布16.7%に対して7.3%と大幅に比率が減少しており、逆に70歳代が10.2%に対して17.5%と大幅な伸びを示している。

職業についてお尋ねします

回答肢	回答数	比率
自営業	66	8.8%
会社員・団体職員	237	31.5%
パート・アルバイト	66	8.8%
学生	14	1.9%
主婦	171	22.7%
公務員	19	2.5%
無職	132	17.6%
その他	43	5.7%
回答なし	4	0.5%
合計(重複あり)	752	100.0%

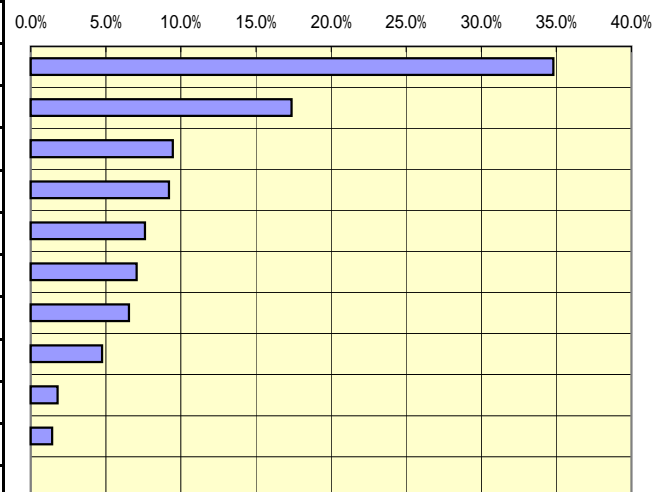


重複した回答がありました

問1 あなたは区内の文化芸術・生涯学習・スポーツ活動の情報を何で入手しますか

(3つまでお選びください)

回答肢	回答数	比率%
区報(広報しながわ)	563	34.8%
町の掲示板上に貼られたポスター	281	17.4%
あまり情報が入手できていない	153	9.5%
区の施設にあるチラシやポスター	149	9.2%
新聞折込のチラシ	123	7.6%
友人・知人などからの口コミ	114	7.0%
ケーブルテレビ品川	106	6.6%
区や団体のホームページ	77	4.8%
区役所やきゅりあんの懸垂幕	29	1.8%
その他	23	1.4%
回答なし	0	0.0%
合計	1618	100.0%

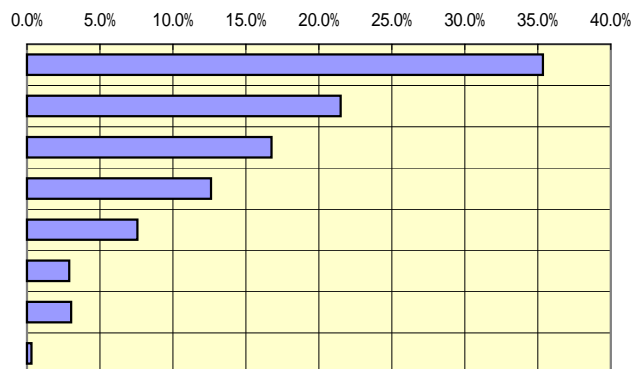


“広報しながわ”が第1位で、35%で他を大きく引き離している。
 第2位は“ポスター”で17%で、ここまですべて50%を超えている。
 設問自体に文字媒体が多かった点が上げられるが、1位2位がオーソドックスな紙による情報であることは留意すべき事項である。
 ケーブルTVやHPなどは下位になっており、両方をあわせて10%程度である。

問2 あなたは今後どのような情報提供の充実を望みますか(3つまでお選びください)

(1)提供の手段について

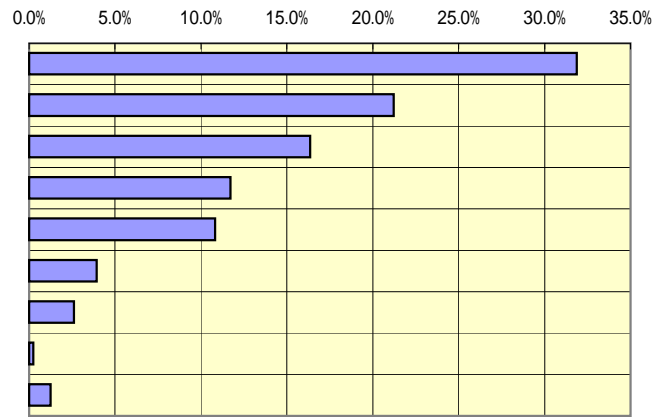
回答肢	回答数	比率%
区報(広報しながわ)による掲載	561	35.3%
チラシやパンフレット・ポスターでの提供	341	21.5%
新聞折込などによる情報誌の各戸配布	266	16.8%
区や団体のホームページの情報	200	12.6%
ケーブルテレビの紹介	120	7.6%
区役所やきゅりあんの懸垂幕での掲示	46	2.9%
その他	48	3.0%
回答なし	5	0.3%
合計	1587	100.0%



“広報しながわ”が第1位で、35%で他を大きく引き離している。
 第2位は“チラシやパンフ・ポスター”で20%で、ここまですべて50%を超えている。
 1位2位がオーソドックスな紙による情報である。情報提供として依然として文字・紙が期待されていることは今後の改善策にいかされるべきものであろう。
 いわゆるメディア媒体としてのケーブルTVやHPなどは下位になっており、両方をあわせて20%近くある。問1とあわせて見ると期待値が大きくなっていることがわかる。
 現状が必ずしも情報提供手段として整備されていない状況もある中での期待値であるので、今後ケーブルTVやHPなどでの情報提供のあり方や、活動結果の報道なども合わせて考えれば、今後の情報提供手段としての能力をあげていく戦略が必要となる。

(2) 提供する内容について (3 つまでお選びください)

回答肢	回答数	比率%
区が主催する講座やイベントの情報	536	31.9%
活動ができる施設の場所や料金など	357	21.2%
企業などが主催する講座やイベントの情報	275	16.3%
大学の公開講座など	197	11.7%
NPOや地域のサークル・グループと活動内容	182	10.8%
指導者やボランティアをしている人など	66	3.9%
特になし	44	2.6%
その他	4	0.2%
回答なし	21	1.2%
合計	1682	100.0%

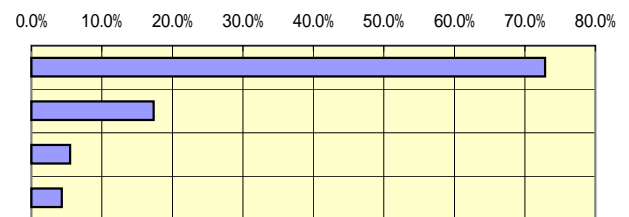


“区が主催する講座イベント情報”が第1位で、31.9%で他を大きく引き離している。
 第2位は“活動ができる施設の場所や料金など”で21.2%で、ここまでで50%を超えている。
 3位は企業などが主催する講座やイベントの情報で16.4%で、次が大学の公開講座などで11.7%。
 様々な主体のイベントや講座などの情報を求めていることがわかる。
 第2位が活動できる場所であることは、講座やイベントの情報以外にも、活動する場所の情報のニーズがかなり高いことがわかる。

・文化芸術（生涯学習も含む）について、質問します。

問3 あなたは文化芸術に関心がありますか（一つだけお選びください）

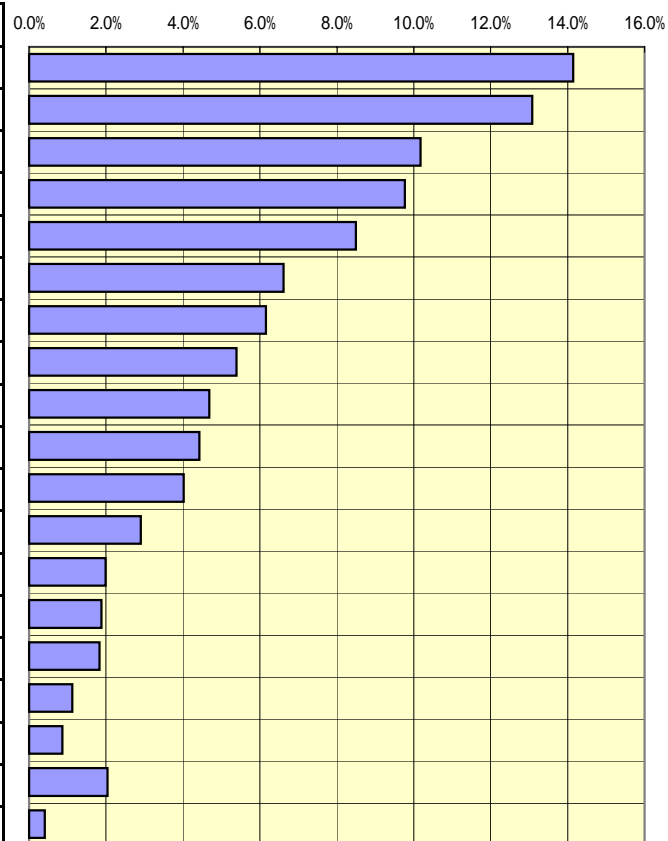
回答肢	回答数	比率%
関心がある	542	72.8%
どちらとも言えない	129	17.3%
関心がない	41	5.5%
回答なし	32	4.3%
合計	744	100.0%



72.8%が関心があると回答。
 関心がないは5.5%である。どちらとも言えないは17.3%。
 この回答枝の場合、“どちらとも”は、否定的とみるべきと思われる。
 スポーツの項でも同様の質問をしているが、スポーツに比べ関心があるはやや低い。

問4 あなたが関心のある文化芸術は次のどれですか（3つまでお選びください）

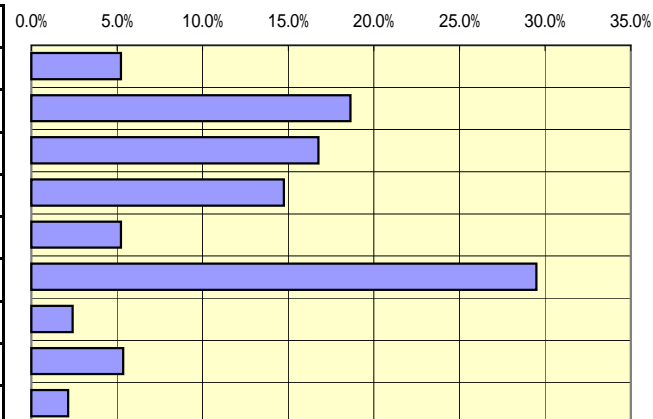
回答肢	回答数	比率%
絵画・書などの美術	278	14.1%
映画・ビデオ・写真	257	13.1%
一般教養などの学習	200	10.2%
クラシック音楽	192	9.8%
ポピュラー音楽	167	8.5%
落語・浪曲・講談・漫才など寄席芸	130	6.6%
演劇	121	6.2%
歌舞伎・能・狂言などの伝統芸能	106	5.4%
伝統工芸	92	4.7%
ボランティアでの活動	87	4.4%
舞踊・ダンス	79	4.0%
茶道・華道	57	2.9%
和太鼓・お囃子などの活動	39	2.0%
文芸等の創作活動	37	1.9%
特に無い(関心が無い)	36	1.8%
三味線などの邦楽	22	1.1%
民謡・民踊	17	0.9%
その他	40	2.0%
回答なし	8	0.4%
合計	1965	100.0%



第1位は、絵画・書などの美術で14.1%、第2位は映画ビデオ写真で13.1%、第3位が一般教養などの学習で10.2%で、ここまでが10%を超えた得票となっている。
以下クラシック音楽・ポピュラー音楽が続くがこの2つを合わせると18.3%となる。
その次が落語・浪曲などの寄席芸が6.6%、演劇が6.2%と続いている。

問5 文化芸術活動を日頃どのくらい行っていますか？（1つだけお選びください）

回答肢	回答数	比率%
ほとんど毎日	39	5.2%
週1～2回程度	139	18.6%
月に1～2回程度	125	16.8%
年に数回程度楽しんでいる	110	14.7%
季節、時期に集中	39	5.2%
たまに楽しむ程度	220	29.5%
発表などに向けて限定した期間での活動	18	2.4%
その他	40	5.4%
回答なし	16	2.1%
合計	746	100.0%

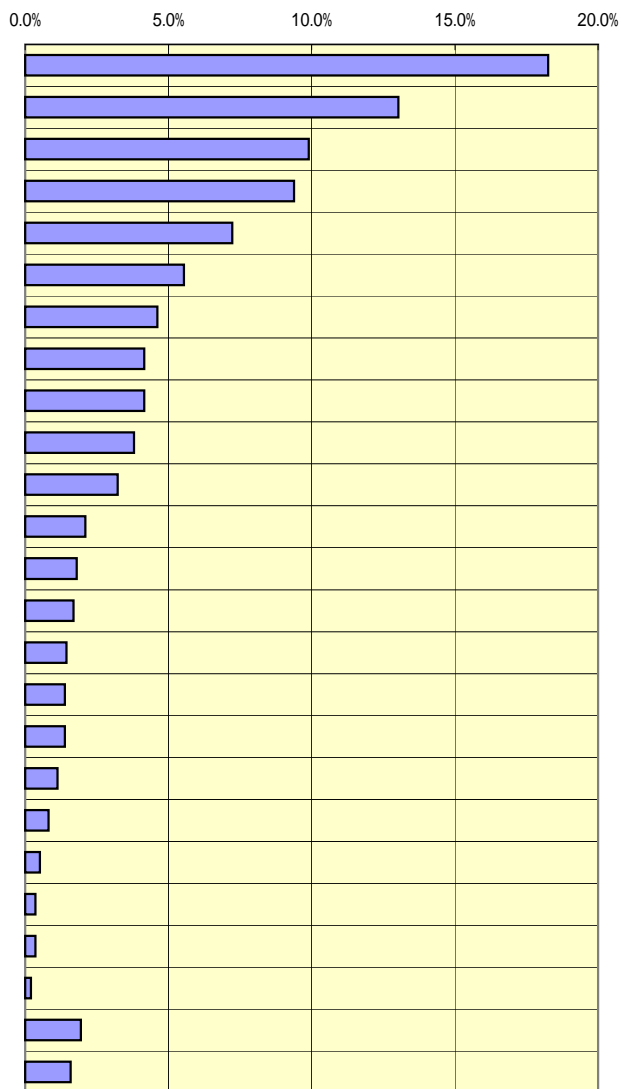


重複した回答がありました

2位と3位は、かなり活発に活動をしていると思われる状態だが、この2つを合わせると約35%となる。
4位の「年に数回」を合わせると約50%となる。
1位の「たまに楽しむ程度」は、楽しむ頻度としては「年に数回」以下となる。
その他の回答の記述に「全くしていない」との記述が14件あった。「8.その他」の40件は、「全くしていない」という回答が多く含まれるものと思われる。

問6 あなたが日ごろ行っている文化芸術活動は？（いくつでもお選びください）

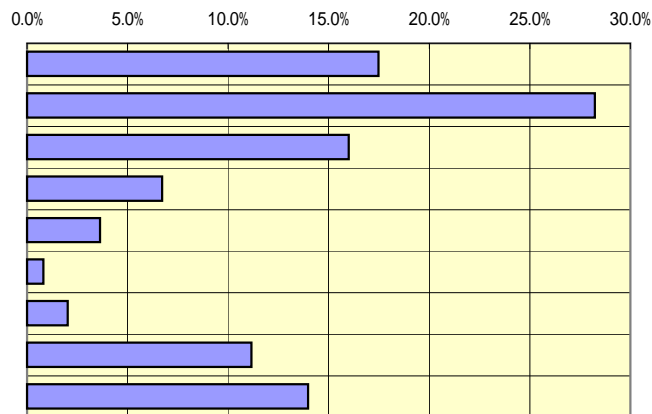
回答肢	回答数	比率%
映画・ビデオなどの鑑賞	356	18.3%
絵画・書などの美術の鑑賞	254	13.0%
クラシック音楽の鑑賞	193	9.9%
ポピュラー音楽の鑑賞	183	9.4%
一般教養などの学習	141	7.2%
演劇の鑑賞	108	5.5%
落語・浪曲・講談・漫才などの鑑賞	90	4.6%
歌舞伎・能・狂言などの伝統芸能の鑑賞	81	4.2%
特に無い(関心が無い)	81	4.2%
ボランティアでの活動	74	3.8%
絵画・書などの創作活動	63	3.2%
舞踊・ダンスの活動	41	2.1%
舞踊・ダンスの鑑賞	35	1.8%
茶道・華道	33	1.7%
文芸等の創作活動	28	1.4%
クラシック音楽の演奏活動	27	1.4%
伝統工芸	27	1.4%
ポピュラー音楽の演奏活動	22	1.1%
三味線などの邦楽の鑑賞	16	0.8%
民謡・民謡の活動	10	0.5%
三味線などの邦楽の演奏活動・習い事	7	0.4%
和太鼓・お囃子などの活動	7	0.4%
演劇の活動	4	0.2%
その他	38	1.9%
回答なし	31	1.6%
合計	1950	100.0%



問4と同じ内容が多いが、こちらの設問には自ら行動する文化・芸術活動を多く設定している。回答の傾向は似ているようであるが、自ら活動する文化芸術に関する行動は下位にあり、また数%という回答になっている。このことから、演奏などの行動(活動)よりも鑑賞型の方が文化・芸術に関する行動の主流であるという傾向に見える。また、和の文化・芸術もあまり高得点は得ていない。

問7 1ヶ月に文化芸術活動にかけている費用は？（1つだけお選びください）

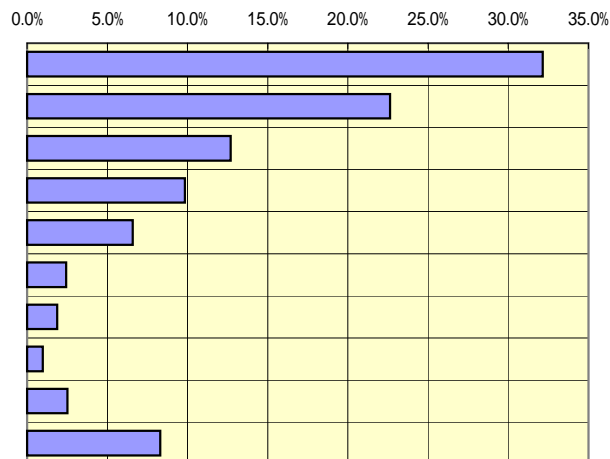
回答肢	回答数	比率%
2,000円以下	130	17.5%
5,000円以下	210	28.2%
10,000円以下	119	16.0%
15,000円以下	50	6.7%
20,000円以下	27	3.6%
25,000円以下	6	0.8%
25,000円以上	15	2.0%
お金はかけていない	83	11.2%
回答なし	104	14.0%
合計	744	100.0%



一ヶ月にかける経費は、1位が5,000円以下で約28%、2位が2,000円以下で約17%で、両方を合わせると45%程度である。
 約半数の回答者は、数千円の経費を投入している。
 一方で、3位の10,000円以下も14%となっているが、それ以上に経費をかけている人が約13%あり、両方を合わせると27%程度の方が、結構な経費をかけていることになる。
 お金をかけていないと言う人は、約11%であった。
 問7～11までは、回答なしが多く出てくる。100を越えるか10%を越えるなどの高率で出現するので、回答なしの意味を見ていく必要がある。

問8 あなたは文化芸術活動をどのように行っていますか（いくつでもお選びください）

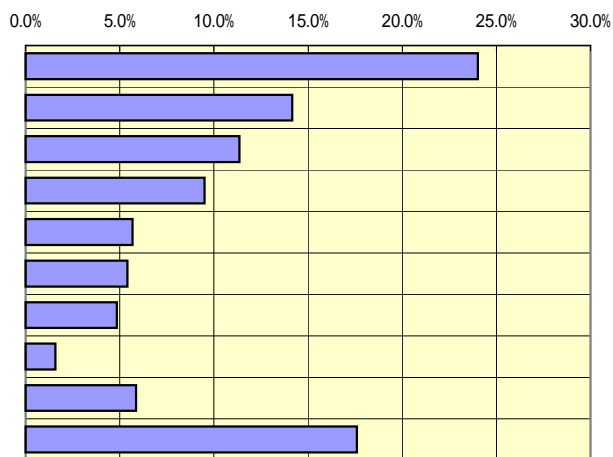
回答肢	回答数	比率%
個人(自宅などで)楽しんでいる	395	32.1%
劇場や美術館などに行く	278	22.6%
団体やサークル活動へ参加	156	12.7%
区が実施する事業(講座)へ参加	121	9.8%
カルチャースクールなどに通っている	81	6.6%
茶華道などの教室や師匠のところへ通う	30	2.4%
文化芸術活動はしていない	23	1.9%
地域の伝統芸能保存会などに参加している	12	1.0%
その他	31	2.5%
回答なし	102	8.3%
合計	1229	100.0%



1位は「個人で楽しんでいる」で約32%で圧倒的に多い。
 問6の回答の状況から見ると必然ともいえ、また文化・芸術の行動が個人に依拠した活動であることを考えれば当然ともいえる結果かもしれないが、意外な結果にも思える。
 劇場や美術館と答えた方は約23%で、第2位となった。
 3位・4位は、公共的な場所で行われる活動と思われるが、合わせて第2位と同じ数字となる。
 カルチャースクールが約7%あったことは注目すべきことかも知れない。

問9 あなたの文化芸術活動は、どこで行っていますか（いくつでもお選びください）

回答肢	回答数	比率%
自宅で	258	24.0%
公共の文化センターなどの貸室	152	14.2%
地域センターなどの集会所の貸室	122	11.4%
自分や仲間の家	102	9.5%
民間施設の貸室	61	5.7%
指導者のアトリエや教室	58	5.4%
学校や会社	52	4.8%
地域の神社や仏閣	17	1.6%
その他	63	5.9%
回答なし	189	17.6%
合計	1074	100.0%

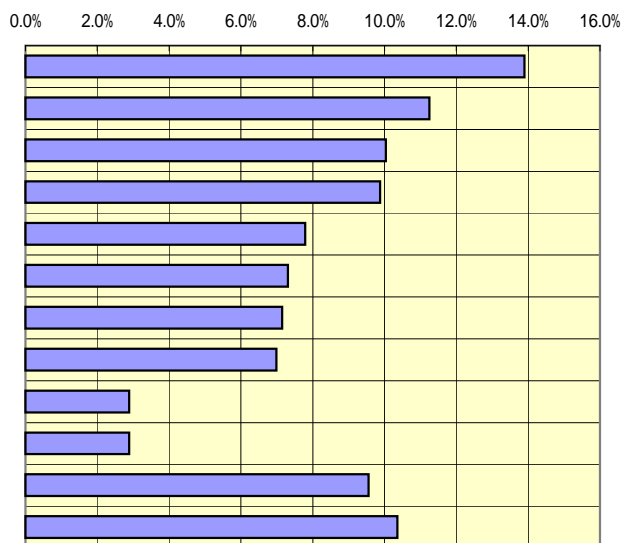


1位は「自宅で」となっており、問6の結果とリンクしている。区民の文化芸術の行動は、自宅型の活動が中心であるように見える。自宅での楽器演奏なども含まれている可能性も高いが、映画・ビデオの鑑賞や音楽鑑賞が問6で上位を占めていた結果ともリンクしているのかもしれない。

2位は「回答なし」で、問7～11の中では、もっとも高率の約18%となっている。「どこで」の回答に「劇場・美術館など」の項目がないことも影響しているのかもしれないが、回答者数の25%に相当する回答者が回答していないことになる。

問10 文化芸術活動をする上で困っていることは？（いくつでもお選びください）

回答肢	回答数	比率%
料金・費用が高い	173	13.9%
自分の時間に合わない	140	11.2%
興味がわく催し物が行われていない	125	10.0%
身近に鑑賞の機会が少ない	123	9.9%
活動できる場所が少ない、分らない	97	7.8%
活動する機会が少ない、情報が少ない	91	7.3%
こうしたことに割ける時間が無い	89	7.1%
催し物の情報が無く何があるのか分からない	87	7.0%
仲間がいない	36	2.9%
困っていることはない	36	2.9%
その他	119	9.6%
回答なし	129	10.4%
合計	1245	100.0%

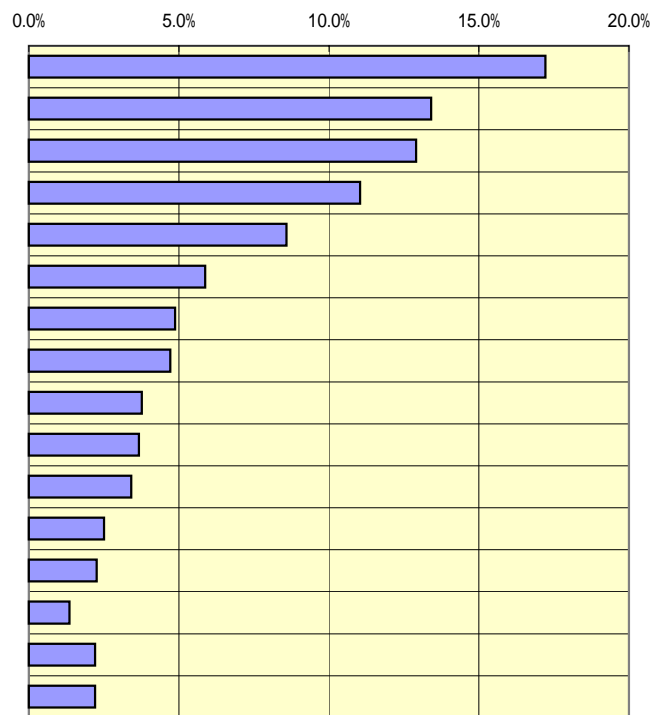


突出して多いものはない。最高の1位が約14%で、全体に回答が分散している。これだけを見ると、深刻に困っているものはないのでは？とも思われる。この設問だけでは、困っていることなどを洗い出すことはできなかったのか、実際に自宅以外に出て活動をして、障害にぶつかったと言う経験があまり無かったのか、これだけでは判断ができない。

問11 今後区民の文化芸術活動を活性化させていくために充実すべきと思うものは

(いくつでもお選びください)

回答肢	回答数	比率%
良質な企画のコンサート・催し物等	343	17.2%
低廉な料金・費用	267	13.4%
施設や場所の充実	257	12.9%
子供たちの豊かな心を育む教育的事業	220	11.0%
活動や発表・講座や勉強会などの機会	171	8.6%
個人で参加できるコンサートなどの参加型事業	117	5.9%
指導者や専門職員など人材の育成や紹介	97	4.9%
イベントなどの運営ボランティアの組織化や育成	94	4.7%
事業の支援やチケット販売などの支援	75	3.8%
活動成果を活かす場や機会の提供	73	3.7%
各種の活動に対する相談・支援の仕組み	68	3.4%
各団体の合同発表会などの場の提供	50	2.5%
団体相互の交流や協働化の仕組み	45	2.3%
特になし	27	1.4%
その他	44	2.2%
回答なし	44	2.2%
合計	1992	100.0%



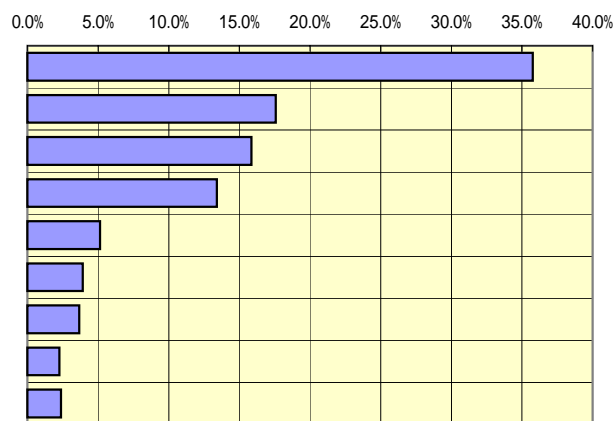
この設問では、今後充実させていくべき施策について、一定の区民の意向を問うというものであったが、一般的な回答が上位を占めていることとなった。

1位は企画内容の充実、2位が料金、3位が場所の充実である。このような設問の場合に上位に、この3点が占めることは当然と言えば当然の結果であるが、1位については、約半数の方が、それを選んでいる点は注意する必要がある。

この設問でも突出して多いものは無く、多様な活動の選択肢が充実されることを求めているように見える。教育的事業の充実が4位にあるが、子どもたちに文化芸術を伝え、こうしたことへの行動を育むことが求められているといえる。

問12 文化芸術活動は、あなたにとってどのようなものですか(いくつでもお選びください)

回答肢	回答数	比率%
自分の趣味・教養の資質の向上	584	35.8%
仲間作りや地域の人たちとのつながりを作る	287	17.6%
自分の健康の維持増進	259	15.9%
生活問題の解決や豊かな日常生活の実現	219	13.4%
ボランティア活動などに活かすためのレベルアップ	84	5.1%
社会福祉活動に活かすためのレベルアップ	64	3.9%
資格の取得など仕事や就職に活かす	60	3.7%
その他	37	2.3%
回答なし	39	2.4%
合計	1633	100.0%



ごく当然の結果かもしれないが、「自分の趣味・教養の資質の向上」が1位35%であった。

2位～4位はほぼ同率で、ここまでが10%を越えた回答である。

第3位に健康の維持増進が入っているが、体を動かさず行動も含めた生涯学習活動が想定されているのではないかとと思われるが、第3位という順位は、健康への関心の高さが現れている数字である。

複数回答であるが、1500を超えた回答となっており、その中で4つに回答が集中している状況である。

問13「あなたにとって品川らしい文化」とは、どのようなものだと思いますか？

回答の種類	数
祭り、東海道品川宿など	24
歴史的な伝統と先進性が融合した文化	12
考えたことがない	4
厚い人情	1
思い当たらない・知らない	27
要望(機会など)	95
その他(文化・芸術関係以外の要望など)	22
合計	185

一流企業が多く、また東海道もあり、先端の技術と伝統行事が共存。

伝統行事・お祭り等が良い。
江戸時代との比較(地図・商店街・町名の由来等、地形等)が知る事が出来たら良い。

旧東海道など歴史的価値が多くあると思いますが、保存・文化の継承をして行くのは、人と財力が必要。商店街・品川区の納税者に負担がかからない様な継承を。

古くから続く宿場町の雰囲気が残る町。寺や神社も多い。地区によって趣が異なる点も味わいが深く、住み易さも兼ね備えた地域でもある。これらを前面に出した町づくりが効果的？

宿場町としての役割や特徴と東京湾を生活の糧とした江戸の香りあるもの。

「工業地帯」「産業地帯」「物づくり日本」の先頭にたつて、工業製品の発展をひっぱりだてたメーカーがたくさんある。

品川は国内はもちろん、海外からも便利な位置にあり、発展した商業施設や新しい建物に加え、歴史的な文化財や史跡等も数多くある。新旧和洋の魅力が合わせられたまち。

品川は日本の夜明けの地と言ってもよいくらいの地域。とりわけ海は重要な役割をもっていた。

品川は下町で、子供～老人まで割りりとバランスよく暮らしている。幼い頃品川音頭で「53次一の宿～」というくだりがとても誇りでした。商店街は安いものが沢山売ってるし、ちょっと足をのばせば都心。自分が住んでいる街を自慢できるってステキ。新しいイベントよりも昔からのスゴイものをもっともっと伝えていけるといい。

品川は東京と日本国にとって入り口であり出口。品川という内向きなものだけでなく、全国に目を向け、全国から人が集まるようなものを築くべき。また、国際色豊かな文化も。

神社、仏閣が多い 水辺の町 都会と昔ながらの街並みが融合している

品川に住み始めて10年程度。確固たる品川の文化をもたないし、知らないのが現実。子供の頃から品川の文化を体験ができると、それが育まれるのでは。学習の機会が望まれる。

品川に移り住んで2年近く。各種イベントも参加したことがないし、見聞したこともない。広く告知することがまずは大切では？

荏原地区に住んで40年、宿場祭りも大井どんたくも中延ねぶた祭りも知らない。告知方法の改善が必要で、興味をそそるようなお知らせ方法があるのでは？

東品川でうまれて育った私は利田神社、洲崎神社、荏原神社、品川神社のお神輿の太鼓の音を聞くとなんとなく血が騒ぐ。ここらあたりが私にとっての品川らしい文化。先祖から紡いで来たものですが、幼児の頃からそれに慣れ親しませることが、大切では？

大井どんたく、中延ねぶた祭、大変なにぎわいで、このイベントを楽しみました。まずは紹介を。

問14「生涯学習」のもつ役割は何だと思いますか？

回答の種類	数
生きがい	43
仲間づくり	29
教養・スキルアップのため	16
認知症予防	14
自己啓発	13
健康のため(体力づくり)	13
活動の幅を広げる	8
生活の質の向上	11
地域の活性化	10
精神の安定	6
若者への文化の継承	5
よくわからない、考えていない	3
コミュニケーションの一部	1
要望など	12
その他	40
合計	224

人生が長くなった今、生き生きと人生を歩めるための活動の幅を広げる役割を持っている。

生きがいになるもの 無理なく続けていけるもの 仲間との交流 年令を重ね、子供たちに伝え教えていける

人は死ぬまで学ぼうという意識があれば、脳は活性化され、老いることはないのでは。好奇心を持つこと、興味を持つことは、何かを学びたいということにつながるのでは。

自己啓発はもとより、学習しようとする意欲を持ちつづけることが生涯学習の本来の目的では。年を重ねても好奇心を持ち、まわりに目をやり、社会の中の一人として生活していくことは大切。

取り組む者の人生を豊かにする役割をもち、また行政の面から言えば、地域の活性化につながる重要なもの。

生き甲斐となるような老後の活動と同好会的な仲間づくりを通じて、社会参加を具現化できれば、充実した毎日が過ごせるのでは。高齢者の自宅のひきこもりなどを防止する為にも、学校の空き教室を利用するなど、身近で安価な学習センターがあれば。

生涯学習を通じて、健全な町作りに貢献出来るような事が遠からず役割となるのでは。

高齢になっても学び続けることは人生を豊にし、スキルをあげることにもつながる。各個人に向上心があり、充実した生活があれば高齢化社会も暗くはならない。

学びたいと思う好奇心、いくつになっても自分を高めるため学びたいと思う意欲、仲間との交流、達成感が生きがいにつながる。これが生涯学習の役割だと思います。

人が人として生きていくための意欲を生み出すこと、生活の質を高めること。学習の内容や方法も様々だが、学習する過程で人と関わりを持っていくことで、学習の効果は大きくなるのではないかと。

子供がいると、学校のつながりでご近所と関わりが持てるが、子供がいないと地域の行事に参加する機会があまりない様に思う。高齢化が進むにつれ、コミュニティーの役割が重要になってくると思う。「学び」だけでなく、「人とのつながり」の場を提供することが求められると思う。

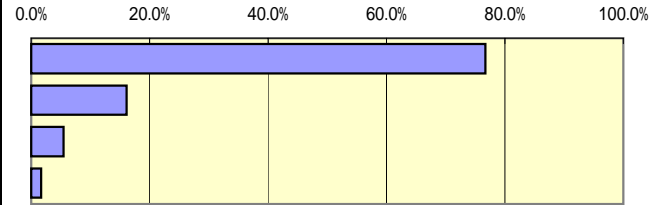
人と人の出会いふれあひが必要だ。過去に文化面・スポーツ面で参加したが、参加者がいきいきして自分への刺激になりました。参加しやすい、自分にも参加してみようと思う気持ちができる企画を希望します。年令に応じて参加出来る事も大事。

子どもが自立し、自分の時間が持てるので、子どもの事だけでなく自分の為に勉強不足の解消したり、休日を有意義に過ごしたり、健康を維持したい等、何かをしたいと思っています。機会があれば色々な事に参加したり学びたい。

・スポーツについて

問15 あなたはスポーツに関心がありますか（一つだけお選びください）

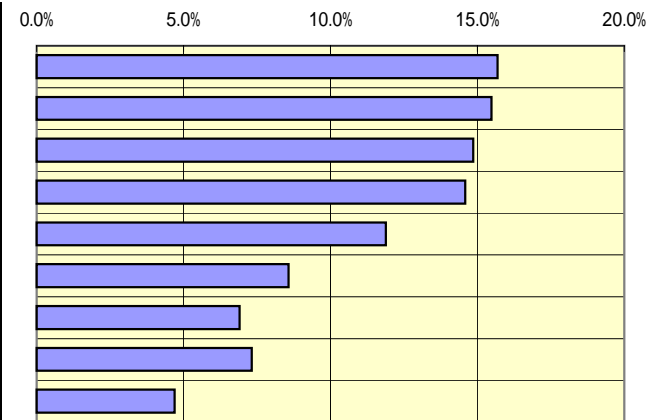
回答肢	回答数	比率%
関心がある	547	76.7%
どちらとも言えない	115	16.1%
関心が無い	39	5.5%
回答なし	12	1.7%
合計	713	100.0%



「関心がある」が76.7%と大部分を占めており、文化芸術同様スポーツへの高い関心が伺える。スポーツのほうが、関心があるが4ポイントほど高い。

問16 あなたが関心のあるスポーツは下記のどれですか（いくつでもお選びください）

回答肢	回答数	比率%
球技系(ラケット系を除く球技)	227	15.7%
ラケット系(テニス・卓球・バドミントンなど)	224	15.5%
水泳・ダイビング系	215	14.9%
ジョギング・マラソンなど	211	14.6%
ダンス・踊り系	172	11.9%
体操系	124	8.6%
武道・格技系	100	6.9%
その他	106	7.3%
回答なし	68	4.7%
合計	1447	100.0%



1位が「球技系(ラケット系を除く球技)」で、2位が「ラケット系(テニス・卓球・バドミントンなど)」であったため、球技への強い関心が伺える。

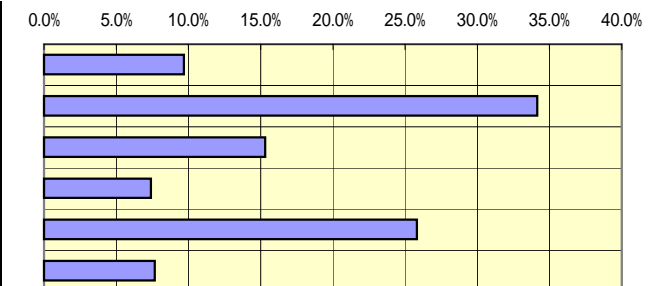
また1位と2位はほぼ同率である。

ただし、その他の回答にウォーキングと書いた解答が18があり、4位のマラソン・ジョギングに、これを加えると229となり、1位に躍進する。

5位のダンス・踊り系までが10%を超えている。6位の体操もその他にヨガという回答が8あり、これを加えると10%近くなる。ここまで、軽重はあれ関心が集まっているスポーツといえる。

問17 あなたは、スポーツを日常どのように楽しんでいますか（一つだけお選びください）

回答肢	回答数	比率%
ほとんど毎日楽しんでいる	72	9.7%
週1回～2回程度楽しんでいる	254	34.1%
月に1回～2回程度楽しんでいる	114	15.3%
年に1回～2回程度楽しんでいる	55	7.4%
ほとんどやらない	192	25.8%
回答なし	57	7.7%
合計	744	100.0%



週1～2回が1位で約34%となっている。文化の方は、同じ回答は約19%で2位であった。

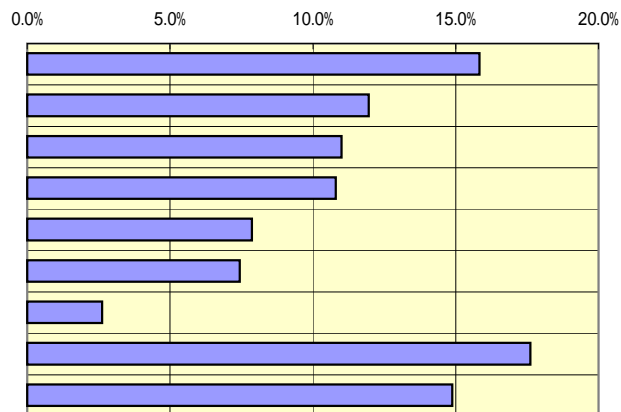
この点は、国の同様の調査と比較して見る必要がある。なお文化の方は第1位は「たまに楽しむ」で約30%である。

第2位は「ほとんどやらない」で約26%であるが、文化では「たまに楽しむ」が29%で第1位。すべての区民が、文化・スポーツを楽しむという区の姿を描くときに、課題となる数値である。

結構な頻度でスポーツ活動をしていると思われる「週に1～2回」と「ほとんど毎日」を合わせると約44%で、「月1～2回」を合わせると約60%となる。

問18 あなたが日ごろ行っているスポーツは？（いくつでもお選びください）

回答肢	回答数	比率%
ジョギング・マラソンなど	151	15.8%
体操系	114	11.9%
球技系	105	11.0%
水泳・ダイビング系	103	10.8%
ラケット系	75	7.9%
ダンス・踊り系	71	7.4%
武道・格技系	25	2.6%
その他	168	17.6%
回答なし	142	14.9%
合計	954	100.0%



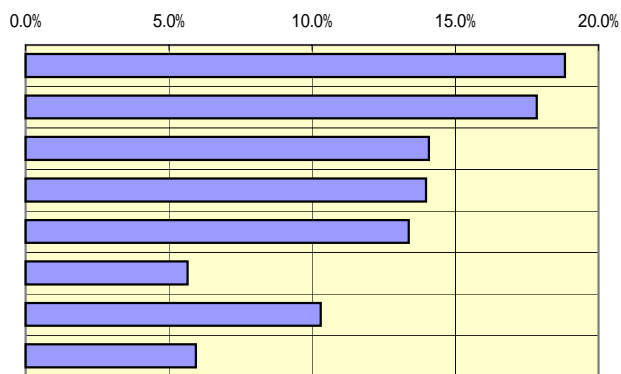
日頃実際に行っているスポーツの回答は、問16と異なった順位となっている。その他が第1位となっているが、ウォーキングが24含まれており、それを加えると1位がジョギングなどのスポーツで、175（約18%）となる。球技系・ラケット系は下位に下がっている。

総じて団体で行うスポーツが下がっていることになる。

回答総数も、問16の7割程度で、実際には中々行いにくいという状況を表しているのかもしれない。

問19 あなたはスポーツ活動をどのように行っていますか（いくつでもお選びください）

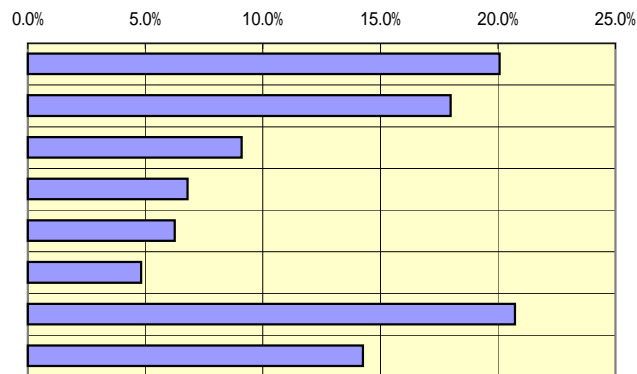
回答肢	回答数	比率%
テレビ観戦が中心	190	18.8%
団体やサークルなど自分たちで活動	180	17.8%
有料の民間スクールや教室に通う	142	14.1%
スポーツ活動はしていない	141	14.0%
無料か低料金の区の講座などに参加	135	13.4%
体育館やスタジアムなどで鑑賞	57	5.6%
その他	104	10.3%
回答なし	60	5.9%
合計	1009	100.0%



スポーツ活動は、する、見る、支えると大別して捉えることができるが、1位にはやはり観戦があがっている。また、自らスポーツを実践する者は2位、3位合わせて32%と全体の3割に至っている。しかし、スポーツ活動をしていない者は、14%となっている。

問20 あなたのスポーツ活動は、どこで行っていますか（いくつでもお選びください）

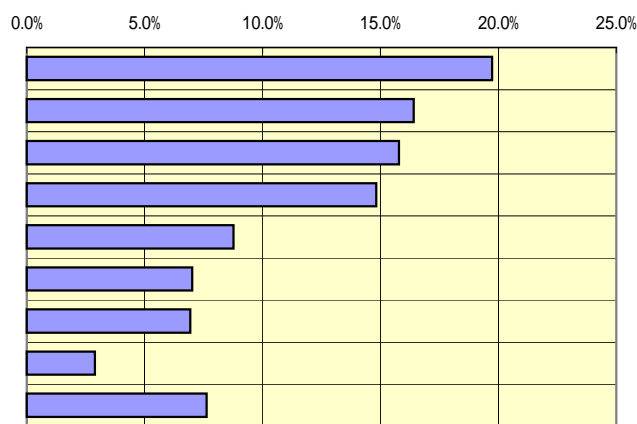
回答肢	回答数	比率%
民間のスポーツクラブ	183	20.1%
区立の体育館や文化センターなどの屋内専用施設	164	18.0%
野球場やテニスコートなどの屋外施設	83	9.1%
地域の集会所（地域センター・町会自治会などの会議室）	62	6.8%
学校や会社	57	6.3%
身近な学校施設を利用している	44	4.8%
その他	189	20.7%
回答なし	130	14.3%
合計	912	100.0%



その他が第1位となっているのは、回答肢の作り方の課題かもしれないが、一般的なスポーツの場以外で行っていることになる。「その他」の記述では、道路・公園・自宅などが記入されていた。これを除くと「民間のスポーツクラブ」という回答が1位となり、約20%を占める。もはやスポーツの場の提供は、民間なしでは考えられないという側面を見せているといえる。

問21 スポーツ活動で困難を感じていることは？（いくつでもお選びください）

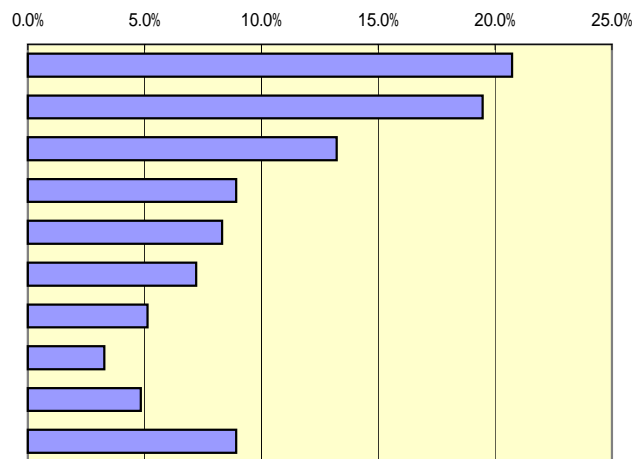
回答肢	回答数	比率%
活動の場所が少ない	225	19.7%
特に困難を感じてない	187	16.4%
使用料金が低い	180	15.8%
時間がない	169	14.8%
スポーツの情報が得られない（場所やプログラムなど）	100	8.8%
手続きが煩雑で面倒	80	7.0%
仲間が少ない	79	6.9%
その他	33	2.9%
回答なし	87	7.6%
合計	1140	100.0%



全体にばらけた回答で、一つだけが突出していない。1位は当然ながら「場所が少ない」である。ただし%で言えば約20%であり、それほど高率ではなかった。また、「特に困難を感じていない」が2位という結果だったのは、問16でジョギングやウォーキングをするという人が多かったため、そのような人々が活動を行う場所に困っていないからなのではないかということが考えられる。個人で楽しむスポーツには「場」は自由度が高いということかもしれない。

問22 品川区のスポーツ振興で充実してほしいものは（いくつでもお選びください）

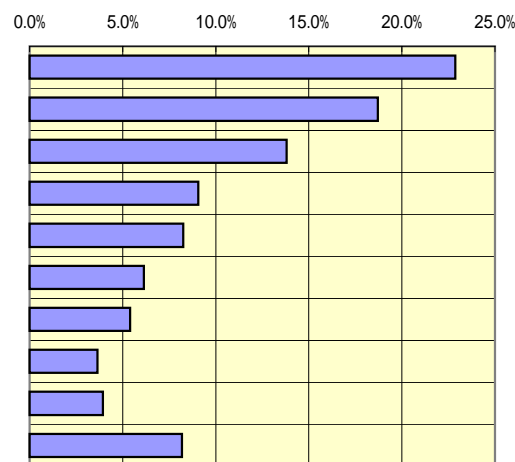
回答肢	回答数	比率%
活動の場所	279	20.7%
情報の提供	262	19.5%
参加型の催し物	178	13.2%
活動の機会	120	8.9%
メジャー大会・競技会などの開催	112	8.3%
活動の支援	97	7.2%
指導者の紹介	69	5.1%
大会・競技会などのチケット販売	44	3.3%
その他	65	4.8%
回答なし	120	8.9%
合計	1346	100.0%



1位の「活動の場所」、問21の設問から、最も困難を感じていることへの充実欲求として、予想される回答であった。2位の情報の提供を望む回答が多いのは、スポーツ全般について興味関心が高い事が伺える。3位参加型催し物、4位活動の機会、5位メジャー大会、競技会などの開催については、いずれもスポーツ機会提供やのスポーツプログラムの充実を望んでいるが、メジャー大会、競技会については、自己参加というよりアスリートのプレーを観戦したいと望んでいる。7位の指導者の紹介が5%という数字は、ある程度指導者については満たされており、それぞれ個人の技術レベルでスポーツを楽しんでいる者が多い。

問23 今後区民のスポーツ活動を活性化させていくためには、品川区はどのようなことをすべきだと思いますか（いくつでもお選びください）

回答肢	回答数	比率%
各種団体や個人が活動できる場の充実や機会の提供	313	22.9%
地域でスポーツを楽しめるスポーツ組織の充実	256	18.7%
大会・競技会等の充実による、見る機会の増大	189	13.8%
地域スポーツ組織と行政が協働できる仕組みづくり(指導者育成や振興事業資金など)	124	9.1%
スポーツイベント開催の支援やチケット販売などの支援	113	8.3%
区民が参画して作り上げるニュースポーツ系の参加型事業	84	6.1%
各団体が参加できる大会・競技会開催	74	5.4%
団体相互の交流や協働化の仕組みづくり	50	3.7%
その他	54	3.9%
回答なし	112	8.2%
合計	1369	100.0%



この設問は、今後、スポーツ振興のために区の果たすべき役割を問うものであるが、前設問から読み取れるとおり、1位は活動場所と機会提供であった。2位の地域でスポーツを楽しめるスポーツ組織の充実については、スポレク組織・活動を通して感じていることとともに、総合型スポーツクラブを求めて入る表れとも受け取れる。しかし、反面、団体相互の交流や協働化の仕組みづくりが3.7%にとどまっているのは、現在ほぼ満足しているのかまた、自主団体同士の交流や協働化の仕組みなどの援助や介入を行政には求めないのではないか。

問24 あなたにとってスポーツ文化とは、どのようなものだとお考えですか？

回答の種類	数
健康維持・体力強化	89
地域・人との交流	35
ストレス解消・気分転換	35
精神面での向上	25
趣味・娯楽	10
観るもの	8
老化防止	6
生活の向上	2
生きがい	2
美容・ダイエット	2
地域の活性化	1
新しいことへの挑戦	1
よくわからない	1
興味がない	3
要望など	39
その他	15
合計	274

スポーツとは、自分にとって生活の一部。30数年前から続けています。友人も多く出来、仕事にも役立っています。定年後も年齢に合った何らかのスポーツは行っていきたい。スポーツ好きの仲間という時間が楽しい。

心身のバランスをとってくれるもの。誰でも住んでいる地域で気軽に参加(見学も含む)できるスポーツの機会、場所が提供されることで築かれ、成熟していくと思う。

出来なかったことが出来るようになる。イメージ通りの結果を出せるようになる。そのために努力する。仲間がいる、こうした時間は、仕事する時間よりも短時間であるけれどその中味、得られる感動は格別なものです。

健康増進、ストレス解消、人との交流、世代を超えた人間関係づくり、様々な面で重要な機能を持つ非常に重要なもの。仕組みづくりも大切ですが、ふと思いたった時にさっと利用できるような場所が都心にはあまりにも少ない。

品川区内や東京都などの大会で優秀な成績を収めた方を何らかの形で公表してほしい。公表することにより関心を持つ人が増える。関心を持つこと、動機づけ、感動することが第一と思う。

古くから在籍しているいわゆる古顔の連中が巾をかかしているのが現状で、新顔が入り込む余地はほとんどなく入会してもその雰囲気になじめずすぐ退会する人が多いと聞いています。この面の解決が大切では。

品川区にはスポーツする施設が少ない。今スポーツがますます盛んになって来ましたので今後は施設の方も充実してほしいと思います。

健康を維持するもの。気分転換するためのもの。そのために気軽にスポーツ(球技など)を楽しめる施設が非常に少ないのが残念です。先日も品川区内の体育館に個人でスポーツをしたいと思い電話をかけたところ、団体でしか受け付けない、と断られた。

身近に感じるものではあるが、新しいスポーツにトライしてみたいと思っても、場所が限られたりする事が多い様に感じます。私達の税金を区民の体と心の健康維持にもっと使って欲しい。皆が平等に情報を得る事ができるリソースを充実して欲しい。

身体を動かすことはとても良い事で、心も満たされる気がします。仲間も出来るし、良い事づくめだと思います。誰もが気軽に参加できる機会を与えてほしい。そして、近くにどのような活動をしている人たちがいるのかももっと公表してほしい。

日本人の生活習慣に、日常的にスポーツを楽しむ習慣が乏しい、生活習慣そのものを会社型から家庭型になり地域で豊に暮らせ、その中から体を動かす事が容易にできる場所があれば、もっと自由に活動できる。

誰もが気軽にいつでも体を動かすことができる場所があることが文化として高いレベルだと思う。しかし現実には、近くに公共の施設がなかったり、高額な民間ジムで縁がなかったりとなかなかうまかないまた、スポーツ観戦・体験の助成があったらいいと思う。